



こんにちは♪

日本共産党市議会議員

小野寺ゆきえです!

民主 苦小牧号外

2026年

2.1

No.1127



今度の総選挙どんな選挙？

このところ、札幌方面にドカ雪が降り、公共交通がマヒし、道路は車も人も行き交うことすら困難になっています。しかも連日氷点下。そんな1月27日に総選挙公示です。首相は北海道の冬を知らないのでしょうか。1月の総選挙は36年振りだそうです。まわりからは「何でこんな時期に選挙なんだ」との怒りと、「ツルツル路面で投票に行けない」との不満の声があふれています。

しかも、解散から投票日まで戦後最短です。私たちは候補者を決定し、ポスターやチラシの作成、選挙ハガキの作成に宛名書き、各マスコミからの候補者アンケートと調査票の作成、チラシ配布などなど、選挙準備が山ほどあり、手分けしても追い付かない程の忙しさでした。選挙に慣れているはずの私たちがこんなに大変なのですから、新たに立候補しようと思う人はとても困難です。選挙に立候補する権利の侵害にもなりますね。

苦小牧の選挙管理委員会の職員さんに話を聞くと、「超」がつく忙しさで、「選挙が終わるまで徹夜覚悟です。休みも取れません」という状態でした。でも「市民のみなさんが無事に投票できるように、滞りなく準備を進めています」と強い責任感で任務にあたっていました。

今度の総選挙はあらゆる人に迷惑な選挙です。しかも首相は、政党選択の選挙ではなく「自分自身を選んでもらう」と、自分が大統領にでもなったようなトンチンカン発言です。何のための選挙でしょうか。

新しくできた“中道”を名乗る新党は、選挙後に自民党と合流する可能性があると言っており、全く“中道”ではなさそうです。ということは、選挙の対決軸は、“自民対共産党”という構図になるのではないのでしょうか。

今度の選挙は、日本共産党の政策が争点になっていることも特徴です。大きな争点の消費税減税は、消費税が導入された37年前から日本共産党が訴えてきたことです。それが世論の力もあり他党に波及しました。

党首討論などで議論になっている大軍拡計画やトランプ大統領との関係も、日本共産党が問題提起してきました。つまり、私たちが自信を持って訴えられる内容です。

私たちは小さいけれど、暮らしと平和の旗を掲げ、市民との共同で頑張ります。あれこれと不満の多いで総選挙ですが、受けて立つしかありませんね。